

事業所名 グループホーム六じょうや

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和5年2月22日（木）		
参加者（今回は新型コロナウイルスのため集まらず、資料を配布した人数）	議 題	
利用者 0 名	1	六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族 8 名	2	入居者情報
地域住民の代表者 3 名	3	利用者の医療看護の状況
市職員 1 名	4	行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員 1 名	5	身体拘束廃止委員会
見識者 0 名	6	今後の事業計画
事業所 0 名		
会 議 録		
<p>今回は新型コロナウイルスの感染拡大の危険があるため、室内で集まらずに資料をお渡しして回答を待つ形で行いました。</p> <p>2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を報告しました。</p> <p>3 入居者の医療看護の状況（R4. 12. 22～R5. 2. 20の期間）を報告しました。 〔利用者の転帰状況〕 〔入居者の看護、介護の状況〕 〔利用者の健康教室開催状況〕 講師矢萩看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 月 冬の感染症と第8波の感染予防についての説明 ・ 2 月 5月から新型コロナが5類の分類になることについての説明 <p>入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。（別々に参加）</p> <p>4 主な行事報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月 門松作り ・ 1月 新年祝賀式と正月遊び ・ 2月 節分 <p>各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。</p> <p>5 身体拘束廃止委員会</p>		

基本に立ち戻っておたずねします。便を触ってしまう利用者をやめさせようとツナギの服を着せて対応することは身体拘束にあたりますが、ツナギを着せずに、触らないようにするために必要な事は何だと思えますか。

(瀬戸市職員)

- ・排泄時に何かしらの不快感があり、それを何とかしたいという思いから便を触ってしまうかもしれません。オムツの汚れ具合や排泄間隔を把握するなどして便を触ってしまう原因を確認することが必要なのではと思います。

(職員)

- ・なぜ触るのかを知る、原因追及だと思う。ただ、それがわかるのかどうかわからない。
- ・究極の話だが、排便した直ぐ後に交換できれば、触らないのではないか。ただ、そんな神業のようなことは、現在では出来ないが、オムツが濡れるサインなどがもっと発達すれば、可能かもしれない。

(その他の意見)

断熱パネルを設置するなどの工夫をされたこともあり、皆様大きく体調を崩すことなく過ごされたことと思います。

6 今後の事業計画

- ・今期を振り返って
- ・設備等整備について
- ・職員の定着について
- ・今後の主な行事について
3月 ひな祭 4月 花見ドライブ
- ・入居者状況

- ・次回運営推進会議 2023年4月27日(木)

(新型コロナウイルスにより集会が無理な場合は資料をお届けし、ご意見をお待ちしています)。